

## 今日のみ言葉 219 「あらゆる力にうち勝つ権威を」 2012. 9. 11

私は、サタンが稲妻のように天から落ちるのを見た。  
蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力にうち勝つ権威を私はあなた方に与えた。  
だからあなた方に害を加えるものは何一つない。(ルカ10の18~19)

I watched Satan fall like lightning from heaven.  
Look, I have given you power to tread down serpents and scorpions and the  
whole strength of the enemy; nothing shall ever hurt you.

この世に生きる時、私たちに苦しめるのは、サタン(悪)の力である。私たちの心のなかに、また家族や周囲の人間やさまざまの出来事のなかに、そして国家間においてもサタンの力は至るところで私たちに苦しめる。それは私たちに分裂させ、苦しめ、悲しみを与え、より大規模になれば戦争という形をとって無数の人たちの命を奪い、苦しめていく。

そうしたサタンの力に対して私たちはどうすることもできない。学校教育がどんなに発達しても、そして平和の重要性が説かれ、さまざまの学問、芸術などが普及してもなお、人間の魂に入り込んで悪へと誘うサタンの力に対抗できずに敗れてしまうことは至るところで見られる。

こうした状況にあって、イエスは、すでにその闇の力(サタン)が、明白に落ちていくのを見たのである。これは啓示である。私たちの周囲では、このようなことは見える現象としてはなかなか見られない。逆に、善きものの力が打ち負かされたり、滅ぼされていくのを数多く見せられている。

しかし、悪の力が現実には至るところではびこっているにもかかわらず、原理的に落ちていった存在であることを神からの啓示として、主イエスは知っておられたのである。

このことが本当に私たちの魂の深きところで確信となっているならば、この世のさまざまの悪しき出来事においても、揺るがせられることはないだろう。たとえ命を奪われようとも、その人の霊は神のもとに帰ることができる。私たちが滅ぼす悪の力を霊的に踏みにじり、勝利する力を与えられているという確言なのである。

私たちがそのような悪の力が落ちていくのを見られず、逆に善の力が落とされていくように見えるこの社会にあって、私たちと比較にならない神の目をもって見られたこと—それが、この主イエスの言葉なのである。



駒ヶ岳という名前の山は全国にいくつもあり、これは秋田県にある山で、高山植物の豊富なことで知られています。この山は、8合目までバスが入るので、バスをおりるともう高山植物が見られます。

今年の夏は体調が十分でなく、この山に登れるとは予想していなかったのですが、盛岡市から山形県鶴岡市の集会に移動する途中の宿舎がこの山のふもとであり、幸いこの日は、体調も山を少しなら歩ける程度に回復してきたこと、しかも、8合目という高いところまでバスが入るということで、終点から少しでも登ってその付近にある植物を調べたいと思ったのです。そして、できれば写真を撮影し、この「今日のみ言葉」で紹介できたらと考えたのです。

ちょうど天候がとても恵まれ、バスの終点から登りはじめると折々に高山の植物が見られるようになり、この写真にある地点ではニッコウキスゲの群落が現れました。

この葉がスゲ属に含まれるカサスゲ(\*)という植物の葉を小さくしたようなものであり、黄色の花を咲かせるということから、キスゲ(黄菅)と言われ、最初日光付近の山に多いと思われたこともあって、ニッコウキスゲという名前がついていますが、各地に見られるものです。

(\*) スゲの仲間は何十種類もあり、そのうちカサスゲ(笠菅)は、その名のとおり、その丈夫な葉を乾かして蓑笠を作るのに用いられた。

東北の山の頂上に近いところで、はるかな昔からこのように、清い山の大気を呼吸して咲き続けてきたこの花、それは人間の汚れとは別世界に生きてきた姿を示しており、見るものに沈黙の中から、語りかけてきます。(写真、文ともT.YOSHIMURA)